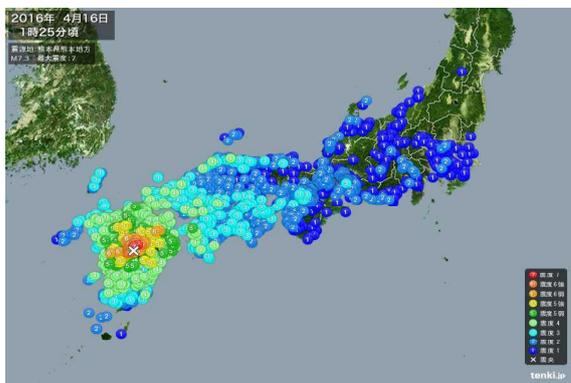


『平成28年熊本地震』

4月14日(木)午後9時26分・4月16日(土)午前1時25分熊本県熊本地方を震源とする
震度7の地震が起きました。



4月16日(土)本震情報

今まで体験したことのない地鳴り・揺れ・振動、そして家財が次々に倒れ落ちてくる恐怖。家はさしみまるで悲鳴を上げているようで、「避難しなければ!」と思えば思うほどに身体が硬直しました。大きな揺れはなかなか収まる気配もなく、大地がブルブルと身震いをするような振動の中で、言いしれぬ恐怖と不安を抱え一夜を過ごされた方も多かったと思います。

この度の地震災害に遭われた皆様、謹んでお見舞い申し上げます。また、被災・ケガをされても命があること、本当に「よかった。」と心から思います。

これからの生活の再建を思えば眠れぬ夜もありますが、きっと他の方々も思いは一緒です。

そして周りを見渡せば、全国各地からボランティアの方々や各業種の方々が集まってくださって、私たちを支えてくれています。その力を糧として、共に乗り越えていきましょう。

地震後の福祉センターは……

4月14日・16日と地震が起きましたが、福祉センターは開館しました。

センター職員も被災している中、出勤できた者たちで福祉センターの被害状況の確認や危険物の除去、問合せの対応を行いました。

1975年に建てられた熊本県社会福祉事業団の建物は、いくつかの傷みはあったものの大きな被害はなく、地震当日にお泊まりいただいた方々や能力開発センターの入所者の方々にも大きな被害はありませんでした。

ライフラインにおいては電気は通電していましたが、水は給水塔にある分だけで、とにかく飲料水の確保が急務でした。ガスは完全に止まったままでした。そのような中、いろいろな団体から支援物資の提供の連絡を頂き、本当に助かりました。

4月21日(木)福祉センターは「福祉避難所」となりました。この日から本格的に熊本市から支援物資を受けられ、避難されてきた障がい者の方々に休める場所を提供出来るようになりました。日を追うごとにボランティアの方々の数も増え、避難された方の介助の手も多くなり、時にはロビーに笑い声も聞こえるようになってきました。



体育館
破損を防ぐためライトを下ろしている



娯楽室
身体・精神・知的障がいの方の部屋



プレイルーム
視覚障がいの方の部屋



訓練室
聴覚障がいの方の部屋



ロビー
ボランティア受付

5月2日(月)から夕食の炊き出しが始まりました。調理をしてくださっている方は、東区で飲食店を営んでおられる方です。

調理の様子



ある日の献立



この地震でお店が被災されているとのことでしたが、福祉センターの調理室で腕を振っていただいています。栄養の管理もしっかりと行われていて、見た目にも食欲をそそられますね!



ロビーで体操!

午前と午後、ボランティアの方々が毎日行ってくださいます。健康増進とコミュニケーションの場としてにぎわっています。

～おしらせ～

この度福祉センターが「福祉避難所」になったため、しばらくの間施設のご利用を中止いたしております。

皆様には、スポーツ・文化活動及び福祉センターが開催する各教室において、ご迷惑をおかけしますことをお詫び申し上げます。

施設利用が可能になりましたら、お知らせいたしますので、お待ちいただきますようお願いいたします。なお、「水泳教室(初・中)」については、5/10(火)初級水泳より再開いたします。